

第2章 奄美ミュージアムの基本理念と目標

2 - 1 基本理念

奄美ミュージアムでは、奄美群島全域を博物館に見立てて、地域住民が主体となり、奄美の宝を保存・活用し、「癒しの島あまみ」を基本理念とした持続可能な地域振興の取組を行います。

【基本理念】

奄美アイランドセラピー
癒しの島あまみ

奄美群島全域をまるごと博物館に見立て、
奄美の宝を生かすとともに、地域の潜在力を引き出し、持続可能な地域振興の取組を展開します

2 - 2 目標

住民の創意と工夫に根ざした主体的・自発的な取組により、地域の特性を生かした産業の展開、豊かな自然や島唄・八月踊りなど個性的な伝統文化を活用した特色ある体験・滞在型観光の推進、保養や療養など中・長期の滞在を含む定住・交流などを図り、人と自然が共生する「癒しの島あまみ」づくりを進め、自立的発展を目指します。

2 - 3 取組の方向

(1) 取組の方向の考え方

奄美ミュージアムは、以下の基本的な考え方に基づき取り組めます。

人材の育成・活用

奄美の「宝」の価値や魅力を広く伝えるのは地域の住民です。そのためには、「宝」に関する複合的な情報を正確に理解し、それらをわかりやすく伝えることや活用ができる人材の育成が重要であり、これからの奄美の将来を担う人材の育成・活用を推進します。

産業・観光の振興

奄美の宝を発見・再認識するとともに、その宝を守り育て有機的につなげることにより、産業や観光を振興し地域活性化を促進します。

情報の発信

奄美の宝に関する情報を収集・整理するとともに、情報と情報をつなぎ、情報を発信していくことで、奄美ミュージアムの活性化に結びつけます。

群島内外との交流・連携の促進

地域の活性化のためには交流が不可欠です。奄美ミュージアムの活動の柱として群島内外との交流ネットワークの形成に取り組みます。

(2) 取組の方向性

奄美ミュージアムでは、前記の方向の考え方にに基づき、次の5つを柱とした様々な取組を行います。

人材の育成・活用

奄美の宝であり、奄美ミュージアムの主役として様々な活動を主体的に推進していく人材を育成するとともに人的ネットワークを構築します。

産業の振興

住民や行政、事業者等が連携し、農林漁業や伝統産業といった異業種の協働による新たな産業クラスターの形成を図ります。これにより既存の産業の活性化と新たな産業の創出を目指します。

体験・滞在型観光の推進

奄美の個性を磨き、他にはない輝きを持つ地域として広くアピールすることにより、豊かな自然と個性的な文化を生かした観光業の振興を図ります。

来訪者が感動を持って地域を巡り、「また来たい(また行きたい)」「また体験したい」「あの人に会いたい」「あの人も教えてあげたい」と思えるような深い体験ができるよう、中・長期の体験・滞在型の観光の振興を目指します。

情報の発信

どんなにすばらしい「宝」があっても、それが知られていなければ、そこを訪れる人はいません。そのため、奄美の「宝」の住民にとっての価値、学術的な価値を確認しながら、「宝」に関する情報、奄美ミュージアムの理念、取組について、インターネット等を活用して広く情報を発信することを目指します。

群島内外との交流・連携の促進

奄美ミュージアムの活動を通じ、群島内外との交流・連携を促進し、交流人口の拡大等による地域の活性化を図ります。